

承認番号	2020-069
研究課題名	ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術におけるスプレー型癒着防止材の有効性の検討
研究の意義・目的	手術後には臓器が癒着を起し、腸閉塞などの術後合併症の原因となることがあります。当院ではロボット支援前立腺全摘除術（RARP）施行時にスプレー型癒着防止剤を使用しています。今回RARP術後の鼠径ヘルニアに対して腹腔鏡下ヘルニア防止術を受けられた患者さんの手術動画で術後癒着の程度を評価し、癒着防止剤の効果を検討します。今回の研究により、今後のロボット支援手術の成績向上に貢献できると考えています。
研究を行う期間	倫理委員会承認後 ～ 2024 年 6月 30日（西暦）
研究対象者の範囲	2020年6月1日から2023年6月30日までの3年間に大阪市立大学泌尿器科および下記施設にて、ロボット支援腹腔鏡下前立腺全摘除術（RARP）を施行され、術後に鼠径ヘルニアを発症し、鼠径ヘルニアに対して腹腔鏡下ヘルニア修復術を受けられた患者さんが対象となります。
お願いする内容	<input type="checkbox"/> 共同研究機関から試料・情報の提供を受けて研究します。 <input type="checkbox"/> 大阪市立大学医学部附属病院が共同研究の代表施設として研究いたします。 年齢、性別、身長、体重、診断名、病期ステージ、手術情報（手術時間、出血量）、術後在院日数、術後合併症、術後血液生化学検査（血算、CRP、AST、ALT、BUN、Cre、CK、TP、ALB、電解質）、腹腔鏡下ヘルニア修復術手術動画での術後癒着の程度（有無、場所、範囲、重症度）
頂いた試料・情報の管理について責任者	研究代表者 所属：大阪市立大学大学院医学研究科泌尿器病態学職名：講師 氏名：山崎 健史
この研究を行っている施設（共同研究機関）	東京慈恵会医科大学附属柏病院 所属：泌尿器科 職名：診療部長 氏名：三木 淳 所属：泌尿器科 職名：副部長 氏名：寒野 徹 所属：泌尿器科 職名：医長 氏名：駒井 好信 所属：泌尿器科 職名：講師 氏名：大庭 康司郎
代表施設のURL	http://www.med.osaka-cu.ac.jp/urology/
研究の成果を公表する方法	学会・論文等で公表いたします
研究に協力をしたくない場合	下記に連絡することでいつでも本研究への参加を拒否できます。また、研究への参加を断っても、診療に関する不利益等を受けることはありません。
連絡先	大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学病院講師 平山 幸良 545-8585 大阪市阿倍野区旭町1-4-3 TEL:06-6645-2121（代）